

光学系設計技術部会 講演要旨

開催日：2018年6月14日（木） <2018-1 ②>

テーマ：「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO の開発」

講演者：木股宏彦氏（オリンパス株式会社 技術開発部門 光学システム開発本部

光学システム開発3部 1グループ チームリーダー）

「M.ZUIKO」レンズでは静止画と動画の両方の対応が必須であるためフォーカスレンズの軽量化が必要不可欠である。今回 12-100mm では、光学有効径の小さい後側の群に負群のフォーカスレンズを設定、それによって、フォーカスレンズ群の小型軽量化→高速化だけでなく、全系の小型化や近接撮影能力を高めることにもなった。また、「M.ZUIKO PRO」レンズシリーズとして、高い周波数の MTF 向上に注力した。かつ、ズーム全域で高い MTF を維持できるように、全 5 群中、ズーム可動群が 4 つあることによって設計自由度が高いことを利用してバランスをとりながら設計を行い、高画質と小型軽量の両立を実現した。また、OM-D E-M1 Mark II と組み合わせた時最大 6.5 段分(CIPA 規格準拠)の手振れ補正効果を達成した。

マイクロフォーサーズの機動性と画質の両立という強みを活かし、今後も多様な要望にこたえたレンズを提供し、カメラ市場の活性化に貢献していく。